

鉄道を利用しましょう

- 私たちの将来のために -

通勤、通学、買い物などでの重要な交通手段として多くの人に利用されている鉄道は、安心して豊かに暮らし続けるため、私たちの生活をさまざまな場面で支えています。桐生市は4路線が走り、15の駅がある恵まれた環境です。私たちの将来のためにも、日常の移動手段として鉄道を利用しましょう。

問い合わせは、広域連携推進室広域連携推進担当（☎内線386）へ。



上毛電鉄上毛線西桐生駅

群馬県民は自動車に依存しています

群馬県が調査した結果では、群馬県民は自動車に大きく依存しているため鉄道の利用者が非常に少なく、通学利用が中心であることから、少子化の影響により利用者はさらに減少する見込みであることがわかりました。

JR両毛線、東武桐生線、上毛電鉄上毛線沿線の各市に住む約6割の人は、1年間に1回も鉄道を利用していません。鉄道を利用しやすい場所に自宅や会社がある人のうち、鉄道で通勤している人は、約1割です。

一方で、同じ条件でも鉄道で通学する人は約6割と、通勤と比べると非常に割合が高く、鉄道が通学には欠かせない移動手段であることがわかります。

鉄道の存続が心配されます

今後もこれまでの利用状況が変わらなければ、少子化の影響によって将来的に利用者は大幅に減少します。そうなると、鉄道の運行を維持できなくなってしまうことも考えられます。運行本数の削減や廃止となれば、通学距離が遠

くても自転車での通学か、自動車での送迎となるでしょう。また病院への送迎や遠方への旅行も同様です。

群馬県は、鉄道の利用状況やその役割を確認し、沿線の自治体と協力して存続のための取り組み（アクションプログラム）をまとめました。

「自動車」以外の移動手段も選択できる社会を目指す

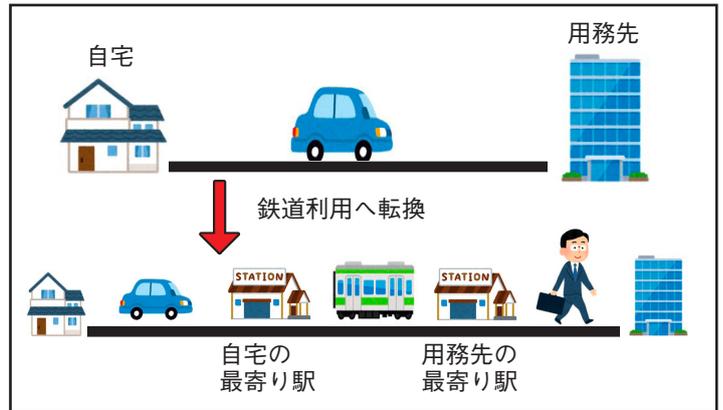
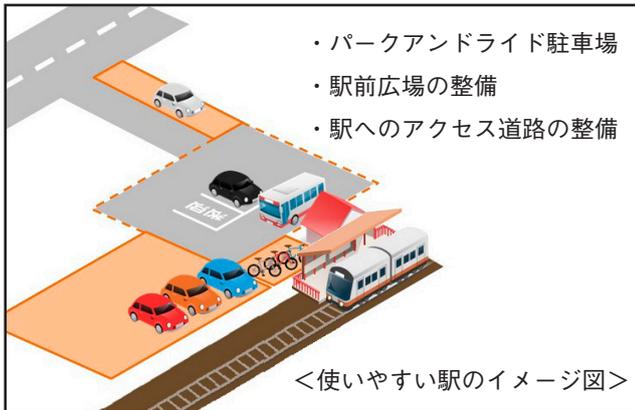
「自動車以外の移動手段も選択できる社会」の実現を目指し、鉄道路線を基幹公共交通軸として位置づけ、将来にわたって存続・維持するための緊急対策として、今後3年間で順次、県内14の鉄道路線別に「利用促進アクションプログラム」を策定し、利用促進に取り組むこととしています。

市内の路線では、2月にJR両毛線、東武桐生線、上毛電鉄上毛線の各アクションプログラムが発表され、わたらせ渓谷鐵道わたらせ渓谷線も今後発表されます。

※各路線の詳しいアクションプログラムは、群馬県ホームページ（http://www.pref.gunma.jp/04/h21g_00063.html）をご覧ください。

行政のアクション

「駅で自動車から鉄道に乗り換えるための駐車場（パークアンドライド駐車場）」など、自動車と鉄道を使いやすくつなげるための環境整備をします。



鉄道利用者のアクション

▼鉄道の将来のために一緒に行動しましょう

①子どもを最寄り駅までの送迎に

- ・送迎に取られる時間が減り、何かと忙しい朝夕にゆとりが生まれます。
- ・交通事故のリスクや渋滞に巻き込まれることが減り、安全に遅刻せず通学できます。
- ・友達とおしゃべりをしながら楽しく通学することができます。

②飲み会のある日に

- ・運転代行を頼んだり、宿泊施設に泊まったりする必要がなく、家計への負担が少なくなります。

③遠方への旅行に

- ・高速道路の渋滞に悩むことはありません。
- ・地域ならではの鉄道や駅弁など、旅行の楽しみが広がります。

▼健康増進にも効果があります

自動車だけでなく鉄道などの公共交通機関を利用した移動は、運動量が多くなるためエネルギー代謝量が大きくなります。県交通まちづくり戦略の調査によると、通勤時に公共交通機関を利用している人は、自動車のみを利用している人に比べて約2.5倍のカロリーを消費しています。この差は、スポーツジムで40分運動したエネルギー代謝量に相当します。

※行政・鉄道利用者のアクションは、「利用促進アクションプログラム」より抜粋

市内の鉄道路線図

